

報告第15号及び第16号関連資料

地方独立行政法人明石市立市民病院の経営状況（令和2年度決算）

並びに業務実績に関する評価結果の報告等について

1 目的

市が出資した法人である地方独立行政法人明石市立市民病院（以下「法人」という。）について、地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、2020年度の経営状況を議会に報告しようとするものです。

また、業務実績について、地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会（以下「評価委員会」という。）の意見を踏まえて評価した結果を、地方独立行政法人法第28条第5項の規定に基づき議会に報告しようとするものです。

2 概要

(1) 経営状況（2020年度決算）

① 総括

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、受診控えや救急件数自体が減るなど、患者数が大幅減となりました。また、急性期病棟1病棟の感染者専用病棟への置き換えに伴う休床による機会損失等の影響もあり、医業収益は前年度より大幅に減少しました。一方で、新型コロナウイルス感染症患者受入に伴う国や県などからの補助金が寄与し、当期純利益は743百万円となり独法化後最大の利益を計上しました。また、資金残高は2,425百万円となり、前年度末を689百万円上回りました。

② 収支決算（単位：百万円）

項目		2019年度 決算額	2020年度 決算額	差引
収益	医業収益	7,600	6,913	△687
	運営費負担金収益	924	1,102	178
	補助金等収益	20	1,261	1,241
	計（上記以外を含む）	8,676	9,409	733
費用	給与費	4,738	4,926	188
	材料費	1,822	1,648	△174
	経費	1,204	1,222	18
	計（上記以外を含む）	8,544	8,666	122
当期純利益		132	743	611
資金残高		1,736	2,425	689

③ 主な数値目標と実績

項 目		2019年度 実績値	2020年度 目標値	2020年度 実績値	前年度との差 目標値との差
職員	常勤医師数	58人	63人	61人	+3人 ▲2人
救急	救急車による搬入患者数	3,164人	3,400人	2,388人	▲776人 ▲1,012人
	救急車お断り率	19.8%	19.0%以下	22.9%	▲3.1% ▲3.9%
地域連携	紹介率	78.7%	78.0%	73.3%	▲5.4ポイント ▲4.7ポイント
	逆紹介率	83.6%	85.0%	68.6%	▲15.0ポイント ▲16.4ポイント
入院	一日平均入院患者数	259.2人	273.9人	238.0人	▲21.2人 ▲35.9人
	新入院患者数	7,377人	7,872人	6,061人	▲1,316人 ▲1,811人
	入院診療単価（一般病棟）	62,075円	61,405円	63,816円	+1,741円 +2,411円
	入院診療単価 （回復期リハビリテーション病棟）	30,364円	31,741円	31,924円	+1,560円 +183円
	急性期機能病棟稼働率	77.9%	83.4%	70.9%	▲7.0ポイント ▲12.5ポイント
	地域包括ケア病棟稼働率	80.6%	81.8%	76.3%	▲4.3ポイント ▲5.5ポイント
	回復期リハビリテーション病棟稼働率 ³	83.7%	90.0%	82.7%	▲1.0ポイント ▲7.3ポイント
外来	一日平均外来患者数	551.5人	558.0人	476.1人	▲75.4人 ▲81.9人
	外来診療単価	17,007円	16,874円	16,882円	▲125円 +8円
財務諸表	材料費対医業収益比率	24.0%	23.4%	23.8%	+0.2ポイント ▲0.4ポイント
	経費対医業収益比率	15.8%	15.1%	17.7%	▲1.9ポイント ▲2.6ポイント
	人件費対医業収益比率	62.3%	62.5%	71.3%	▲9.0ポイント ▲8.8ポイント
	経常収支比率	101.7%	100.6%	108.6%	+6.9ポイント +8.0ポイント
	医業収支比率	95.3%	96.3%	86.4%	▲8.9ポイント ▲9.9ポイント
	医業収益	7,600百万円	7,878百万円	6,913百万円	▲687百万円 ▲965百万円
	入院収益	5,183百万円	5,431百万円	4,828百万円	▲355百万円 ▲603百万円
	外来収益	2,270百万円	2,287百万円	1,953百万円	▲317百万円 ▲334百万円

(2) 業務実績に関する評価結果（2020 事業年度）

① 評価方法

市は、「地方独立行政法人明石市立市民病院の業務の実績に関する評価実施要領」により、法人の2020事業年度に係る業務実績について評価を実施しました。

評価にあたっては、地方独立行政法人法及び地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会条例に基づき、評価委員会に意見を求めました。

<評価委員会 委員名簿>

役 職	氏 名	職 名
委員長	明 石 純	関西学院大学経営戦略研究科 教授
副委員長	日下 孝明	明石市医師会 顧問
委 員	中田 精三	伊丹市病院事業管理者
	工藤 美子	兵庫県立大学 看護学部長
	武田 英彦	公認会計士

② 業務実績の評価結果

評価結果

「中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる」

<判断理由>

法人は新型コロナウイルス感染症対応に最優先に取り組みながら、急性期を中心とした総合的医療の提供にも取り組むなど、市民病院としての使命を果たしており、特に感染症対応では、市内唯一の患者の入院受入れ機関として、いち早く体制を整え、院内でクラスターの発生もなく、1年を通じて診療体制を維持出来たことは、評価委員から高い評価を得ています。

急性期医療では、質の高い医療の提供に努めたものの、多くの項目で目標値に届きませんでした。これは新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な制限があるため、やむを得ない側面が多いと考えています。

回復期機能については、地域包括ケア病棟では、昨年度より稼働率は若干低下しているものの、安定して稼働し、回復期リハビリテーション病棟は昨年度とほぼ同水準で稼働しており、地域密着型の切れ目ない病院診療実現に向けて順調に進んでいます。

財務面では、医業収益が大幅に減少しましたが、国県からの感染症対応に係る補助金が寄与し独法化後最大の黒字となり、結果として経営基盤の改善に繋がりました。

このようなことから、2020事業年度の業務実績の評価は「中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる」としました。